

音楽ビジネスと著作権

デジタル・ネットワーク技術が進展し社会に定着していく中で、音楽をめぐるビジネスは CD 等のパッケージから音楽配信へと形態を進化させています。他方で、ライブイベントはその希少性からより多くの人々を集めるようになっていましたが、2020 年全世界を襲ったコロナ禍はライブイベントの開催を困難にし、音楽ライブ配信が一躍注目を集めています。

2021 年度の著作権ビジネス講座 (アドバンス) では、音楽ビジネスの今現在に注目し、さまざまな音楽ビジネスと著作権の関わりについて具体的な事例を織り交ぜながら解説、検討します。

11/4 (THU)

12:30 受付開始

13:00

「Music & Money」

▼
谷口 元 氏

15:00

株式会社東京谷口総研 代表取締役社長

Break

15:20

「新時代の音楽ビジネスにおける権利処理と収益分配」

▼
金子 剛大 氏

17:20

TMI 総合法律事務所 弁護士

11/5 (FRI)

12:30 受付開始

13:00

「音楽著作物をめぐる様々な裁判例」

▼
棚井 啓 氏

15:00

東京地方裁判所 民事第 46 部 裁判官

Break

15:20

「音楽著作権の集中管理の実務」

▼
市村 直也 氏

17:20

橋元綜合法律事務所 弁護士

- 開催日 11月4日(木)～5日(金)
- 受講方法 会場 or LIVE 配信
- 会場 アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
東京都千代田区九段北 4-2-25
Tel 03-3261-9921
- 会場定員 36 名
- 受講費 (会場・LIVE 配信)
会員 38,000 円 (1名・税込)
一般 47,000 円 (1名・税込)
- 申込締切 10月22日(金)
- 見逃配信 11月5日(金) 19:00 ~ 11月9日(火) 18:00
※会場受講者にも視聴 URL をお知らせいたします。



会場アクセス 市ヶ谷駅から徒歩 2 分
JR: 中央線 (各駅停車)・総武線
東京メトロ: 有楽町線・南北線 / 都営地下鉄: 新宿線

音楽著作物をめぐる様々な裁判例



棚井 啓
TANAI AKIRA

東京地方裁判所
民事第 46 部 裁判官

音楽の著作物に関する裁判例について、注目すべき裁判例を中心に裁判所の判断のポイントなどを解説します。

- 略 歴 ●●●●●●●●●●
- 2005 年 京都大学法学部卒業
 - 2006 年 大阪地方裁判所
 - 2010 年 ワシントン大学ロースクール (客員研究員)
 - 2011 年 外務省総合外交政策局国際平和協力室課長補佐
 - 2013 年 横浜地方裁判所
 - 2015 年 福島地方裁判所郡山支部
 - 2018 年 最高裁行政局付
 - 2020 年 東京地方裁判所

- 主な著書・論文 ●●●●●●●●●●
- ・「特許法による査証の手續等に関する規則」(『NBL1175号』商事法務/2020)
 - ・「知的財産高等裁判所、東京地方裁判所・大阪地方裁判所知的財産権部各部の事件概況」(『法曹時報 72 巻 11号』法曹会/2020)

音楽著作権の集中管理の実務



市村 直也
ICHIMURA NAOYA

橋元総合法律事務所
弁護士

音楽ビジネスを成立させるためには、多数の著作権者から管理委託を受けて、音楽著作物の利用許諾を行い、利用者から徴収した使用料を著作権者に分配する役目を担う集中管理団体の存在が不可欠です。このような著作権の集中管理事業を規制する著作権等管理事業法は今年で施行から 20 年になります。この間、音楽ビジネスをとりまく環境は大きく変化し、これに対応して著作権の集中管理の在り方も大きく変化しました。本講座では、今日の音楽著作権の集中管理の実務を紹介し、今後の課題等について検討します。

《 《 《 講 義 内 容 (予 定) 》 》 》

1. 著作権の集中管理と著作権等管理事業法
2. 各著作権等管理事業者の性質及びその特色
3. 音楽著作権管理実務の実際
4. 著作権の集中管理をめぐる裁判

- 略 歴 ●●●●●●●●●●
- 1981 年 早稲田大学法学部卒業
 - 日本音楽著作権協会 (JASRAC) 入社
 - 1998 年 同社退社
 - 司法研修所入所
 - 2000 年 弁護士登録
 - 2010 年 金沢工業大学大学院教授

- 主な著書・論文 ●●●●●●●●●●
- ・『JASRAC 概論 音楽著作権の法と管理』(共著/日本評論社/2009)ほか
 - ・「3DCG と著作権」(『NBL964 号』商事法務/2011)
 - ・「デザインと著作権」(『NBL1020 号』商事法務/2013)
 - ・『実演家概論 権利の発展と未来への道』(共著/勁草書房/2013)
 - ・『コンテンツ・ビジネスと著作権法の実務』(共著/三共法規出版/2015)
 - ・「出版における保護期間経過後の著作物等の利用」(『出版をめぐる法的課題—その理論と実務』/日本評論社/2015)
 - ・『判例でみる音楽著作権訴訟の論点80講』(共著/日本評論社/2019)

●●●●●●●●●● 学 会 等 ●●●●●●●●●●

- ・著作権法学会
- ・日本工業所有権法学会

<お知らせ>

当日は会場にて CRIC 発行の著作権関連書籍を割引販売いたしますので、ご興味のある方は是非この機会にお買い求めください!

「音楽ビジネスの著作権 (第 2 版)」
(編著: 福井健策 / 共著: 前田哲男 谷口元)
定価 2,750 円 (本体 2,500 円+税) 好評発売中!



お申込みはこちら

⇒ <https://www.cric.or.jp/seminar/index.html>



会場での受講

注意事項

- 講演の録音、録画、写真撮影、ビデオ撮影、及びお申込者数より多い人数での視聴は固くお断りします。
 - 新型コロナウイルス感染症の感染予防及び拡散防止の対策を講じたうえで開催いたしますので、会場受講の際は必ずマスクを着用していただきますようお願いいたします。
 - 今後の新型コロナウイルス感染症の広がりや政府方針等の変更により、セミナーの開催を中止する場合は、速やかに弊センターHPでご案内し、お申込みのあった皆さまに対しては、メール・お電話での連絡、ご入金後であれば返金の対応をさせていただきます。
 - お申込み後、開催日1週間前までに受講票等が届かない場合には、ご一報ください。
 - 参加費は、期日までにお支払いください（当日会場でのお支払いはできません）。
 - 払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。
 - キャンセルによる返金および他の講座への振替はできません（代理出席は可能です）。
 - 講演前日までに LIVE 配信視聴 URL、および配付資料（レジュメ）のダウンロード URL をお知らせいたします。配付資料（レジュメ）は会場でもお配りいたします。
- * CRIC は、日本弁理士会の継続研修の外部機関として認定されており、このセミナーは、日本弁理士会の継続研修として申請中です。この研究会に参加し所定の申請をすると、外部機関研修として8単位が認められる予定です。

LIVE 配信での受講

注意事項

- 講演の録音、録画、写真撮影、ビデオ撮影、及びお申込者数より多い人数での視聴は固くお断りします。
 - 今後の新型コロナウイルス感染症の広がりや政府方針等の変更により、セミナーの開催を中止する場合は、LIVE 配信も中止となります。その場合は速やかに弊センターHPでご案内し、お申込みのあった皆さまに対しては、メール・お電話での連絡、ご入金後であれば返金の対応をさせていただきます。
 - キャンセルによる返金および他の講演への振替はできません。
 - 講演前日までに LIVE 配信視聴 URL、および配付資料（レジュメ）のダウンロード URL をお知らせいたします。
- * LIVE 配信での受講は日本弁理士会の継続研修対象外です。単位取得は認められません。

* お知らせいただいた個人情報は、本研究会の運営、及び当センターが実施する事業（講座・セミナーの開催や書籍の発行など）のご案内のために必要な範囲以外では利用いたしません。

当センター主催のセミナーや、新刊書籍などの情報をお送りするメールマガジンサービスを行っています。配信をご希望の方は、こちら <https://www.cric.or.jp/magazine/index.html> から登録をお願いします。メールマガジンの配信は無料です。

登録無料



お問合せ先

公益社団法人 著作権情報センター（CRIC）

〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー22F

TEL 03-5309-2421